



メーカー管理用です。

TOTO

ロータンク金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
	禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。
	必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
	禁止 陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

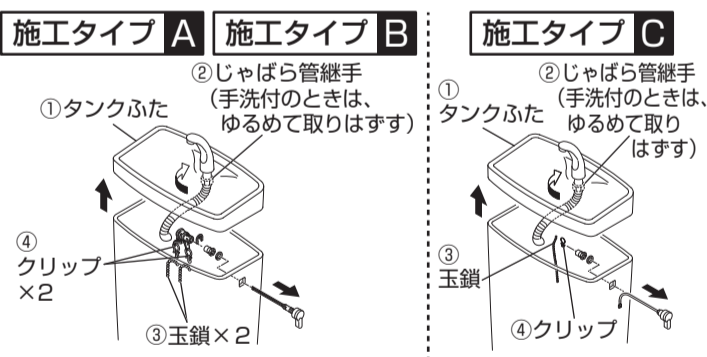
※部品があるか、下記を参照して確認してください。※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

レバーハンドル部	レバー組品
<p>レバーハンドル (1個) ※水抜き方式の場合はロックボタン付</p>	<p>レバー (灰) (1個)</p> <p>ピン (1個)</p> <p>スペーサー (灰) (1個)</p> <p>レバー (ピンク) (1個)</p>
<p>スペーサー (1個)</p> <p>ナット (1個)</p> <p>ピン (1個)</p>	<p>施工説明書 (1部)</p>

取付方法

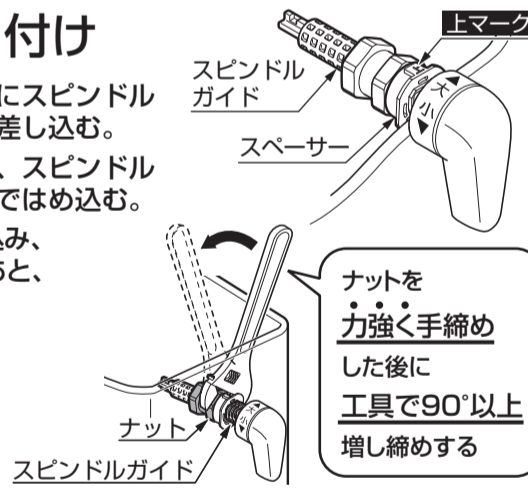
1 既設ハンドルの取り外し

- 止水栓を閉めてロータンク内の水を抜く。
- ロータンクのふたを取り外す。
- 既設のハンドルを取り外す。
- ①～④の部品は、取り付け時に使用しますので捨てないでください。



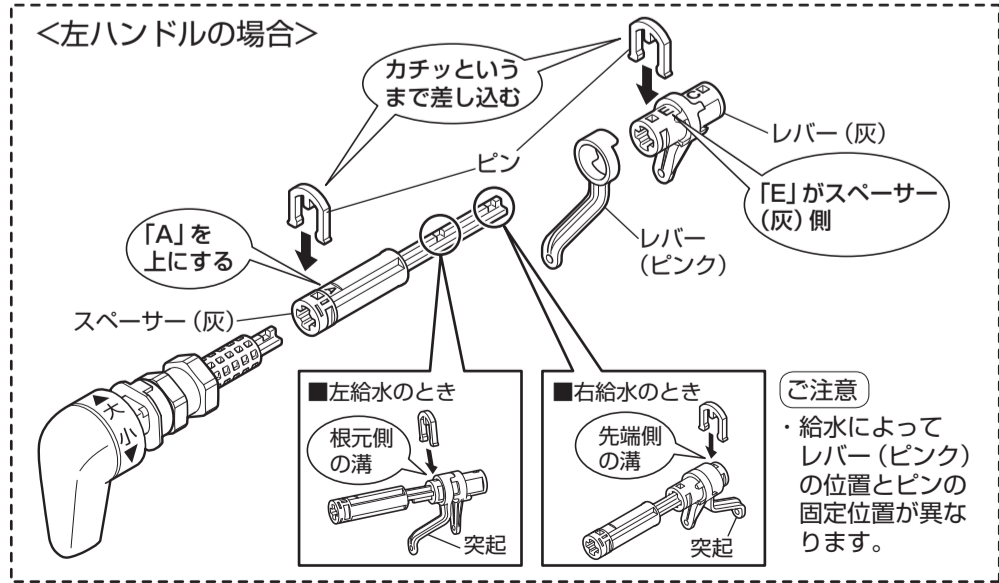
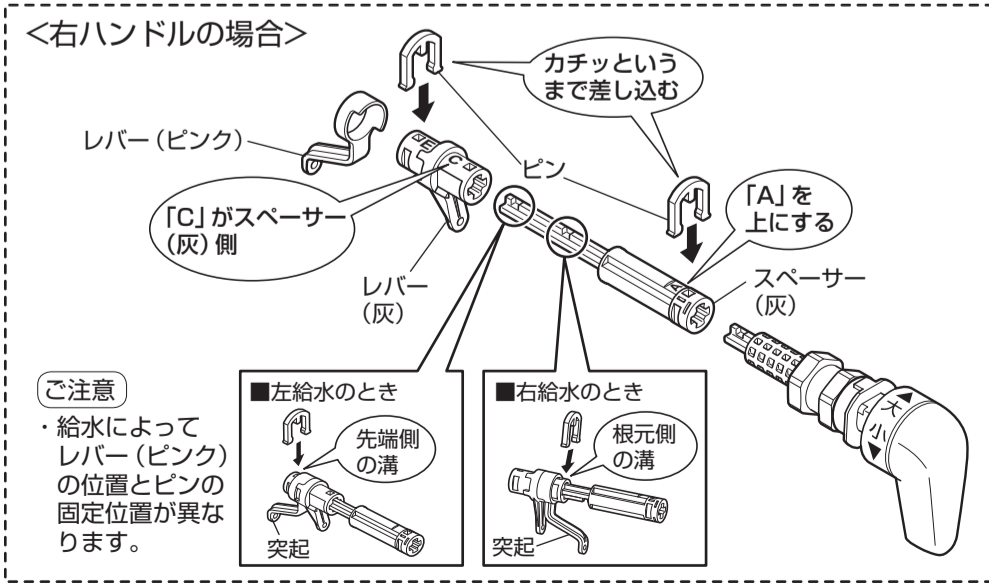
2 ハンドル部の取り付け

- レバーハンドルをハンドル取付穴にスピンドルガイド先端の上マークを上にして差し込む。
 - スペーサーの上マークを上にして、スピンドルガイドの上マークにあわせて奥まではめ込む。
 - スピンドルガイドにナットをねじ込み、ナットを握って力強く手締めしたあと、工具で90°以上増し締める。
- ※締め付けが弱いと、ガタツキの原因になります。
※工具で締め過ぎると、破損や、レバーハンドルの作動不良の原因になります。



3 レバー部の取り付け 施工タイプ A

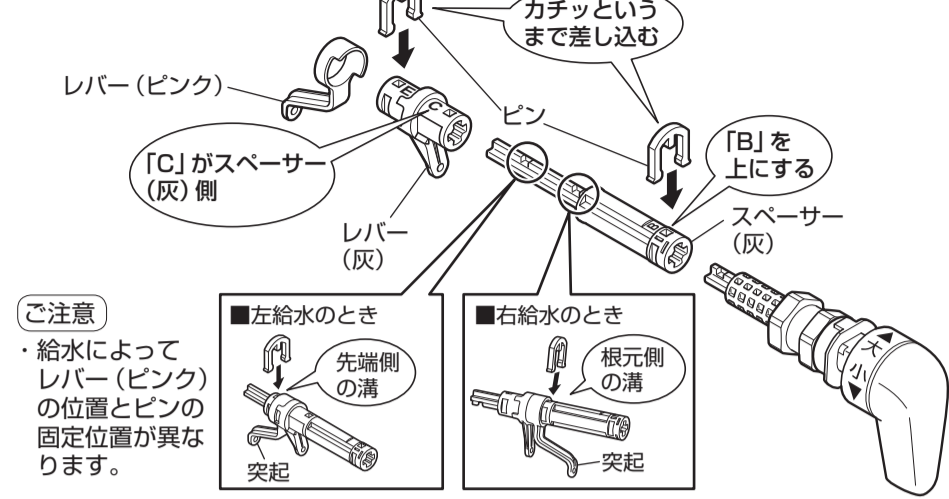
- スペーサー (灰) の[A]を上にして挿入し、ピンで固定する。
- レバー (灰) とレバー (ピンク) をはめ、ピンで固定する。



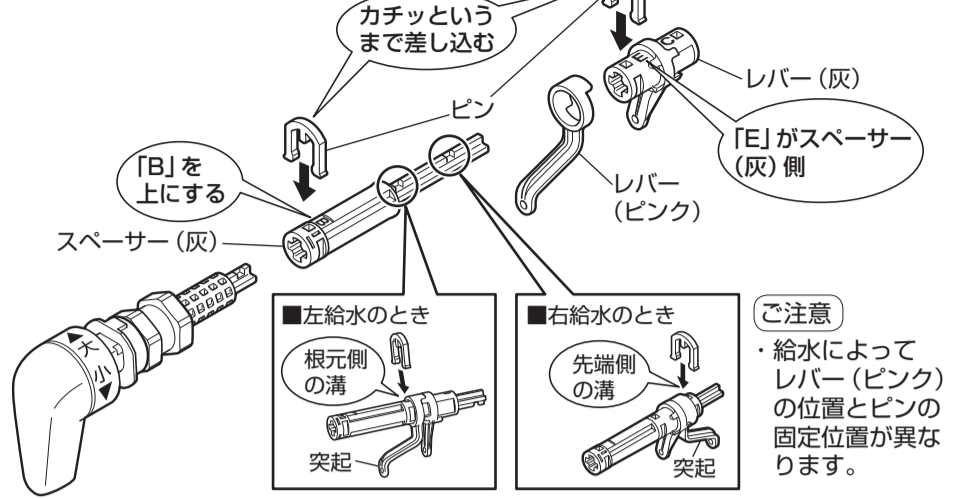
3 レバー部の取り付け (つづき) 施工タイプ B

- ① スペース (灰) の [B] を上にして挿入し、ピンで固定する。
- ② レバー (灰) とレバー (ピンク) をはめ、ピンで固定する。

<右ハンドルの場合>



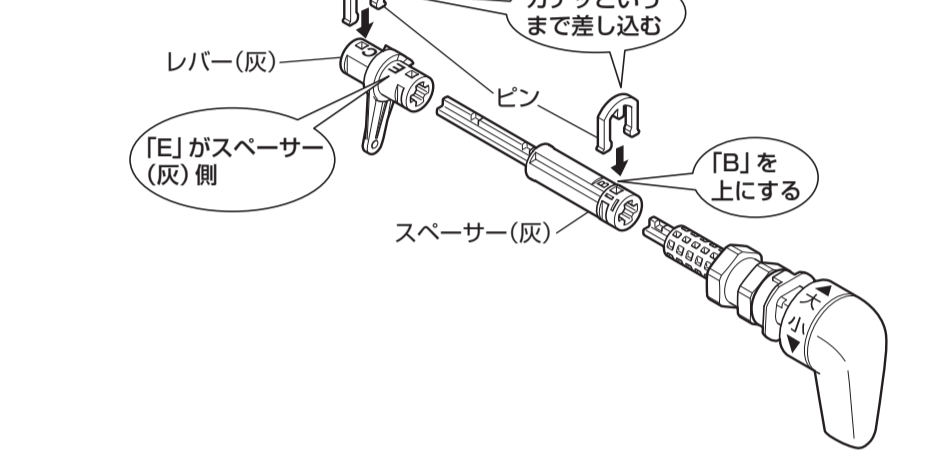
<左ハンドルの場合>



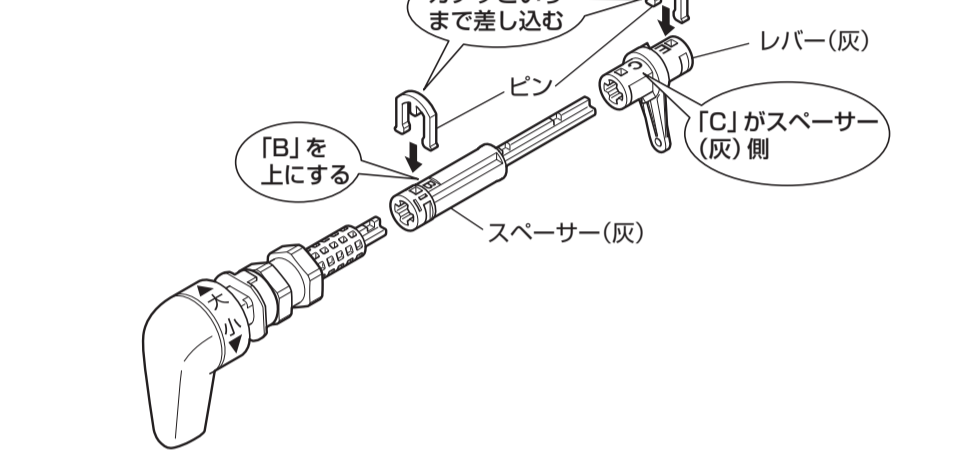
施工タイプ C

- ① スペース (灰) の [B] を上にして挿入し、ピンで固定する。
- ② レバー (灰) をはめ、ピンで固定する。

<右ハンドルの場合>



<左ハンドルの場合>



4 玉鎖の取り付けと作動確認

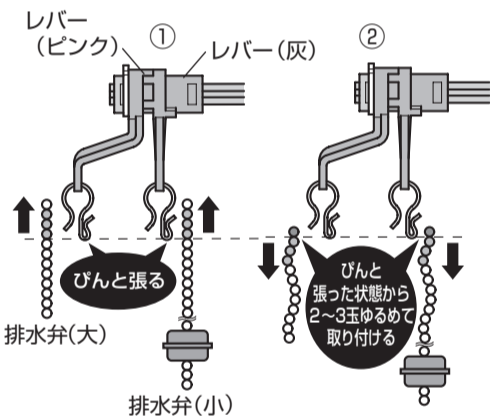
施工タイプ A 施工タイプ B

① 玉鎖を取り付ける。

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる。
- ② びんと張った状態から2~3玉ゆるめて取り付ける。

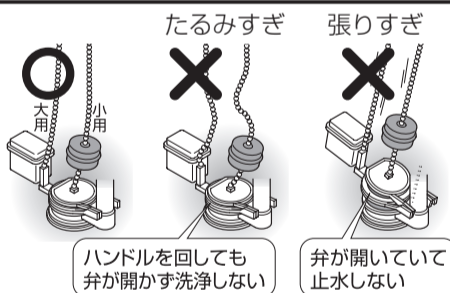
【ご注意】

右給水の時も、レバーと排水弁の組み合わせは同じです。(排水弁(大)がレバー(ピンク)側)



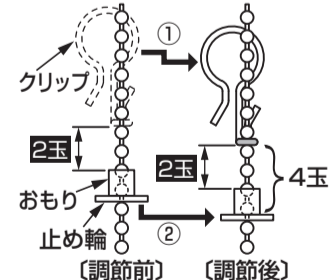
【ご注意】

玉鎖を取り付けた際に、右記に注意してください。



玉鎖におもりがついている場合

必ずクリップとおもりは2玉分すき間をあけてください



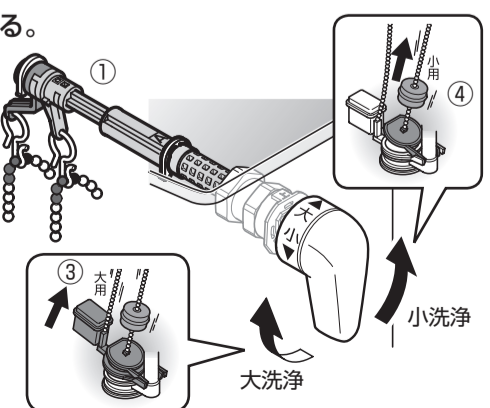
- ① クリップの位置を調節する。
- ② 止め輪をクリップの位置から4玉下に取り付ける。

必ず実行 2玉のすき間があることを確認ください。

※大小レバーともに2玉分のすき間をあけてください。

② ハンドルと排水弁の作動を確認する。

- ① ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ② レバーがボールタップなどに干渉しないこと。
- ③ ハンドルを「大」側に回したときは、上下両方の排水弁が開くこと。
- ④ ハンドルを「小」側に回したときは、上側の排水弁のみが開くこと。



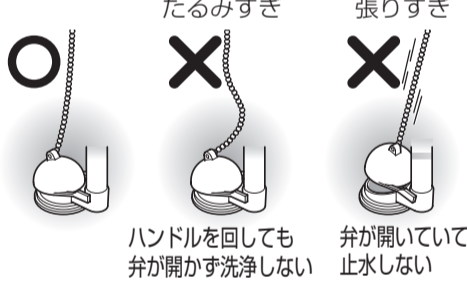
施工タイプ C

① 玉鎖を取り付ける。

- ① 排水弁が上がらない程度に玉鎖をびんと張るまで引き上げる。
- ② びんと張った状態から2~3玉ゆるめて取り付ける。

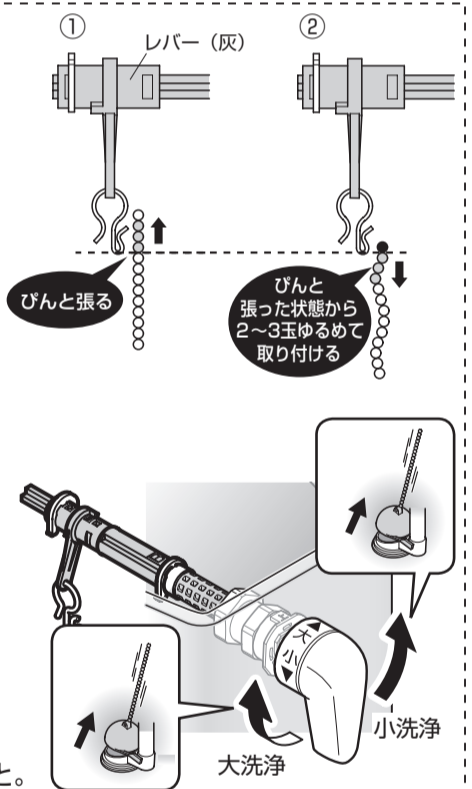
【ご注意】

玉鎖を取り付けた際に、下記に注意してください。



② ハンドルと排水弁の作動を確認する。

- ① ハンドルが「大」側、「小」側へ正常に作動すること。
- ② レバーがボールタップなどに干渉しないこと。



5 取り付け完了後の確認

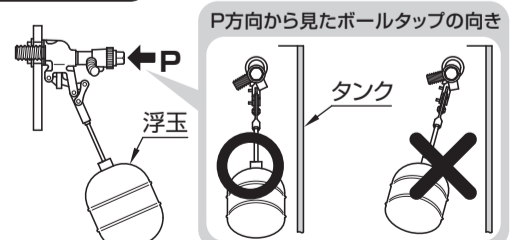
- ① ロータンクの止水栓を開ける。
- ② 便器洗浄を確認する。
便器洗浄が大・小洗浄とも正常に行われることを確認する。

正常に作動しない場合

- ・ハンドルは正しく取り替えましたか?
- ・玉鎖を大小間違えて取り付けいていませんか?
- ・玉鎖がたるみすぎ、張りすぎいていませんか?

③ ボールタップの作動確認を行う。

作動中にレバーがボールタップの浮玉に当たると、便器洗浄の作動不良やボールタップの止水不良の可能性があります。浮玉が真下に降りるように正しく取り付けてください。



- ・試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。
- ・取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- ・なお、冬期間の凍結予防方法についてはお客様にご説明ください。

※BL品 (BLマーク紙貼付品) において、当社が定める施工説明書などに基づく据付工事の瑕疵には(一財)ベターリビングのBL保険が利用できます。保険の詳細・お問い合わせは、下記ホームページをご覧ください。
(一財)ベターリビング ホームページ...<http://www.cbl.or.jp/>
電話番号...03-5211-0559